

令和7年度 指導・評価計画 技術家庭（技術分野）3学年

I 24世田谷区立砧中学校

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	題材	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・ガイダンス	1			
5			●情報セキュリティに関する基礎的な仕組みを説明できる。 ●情報モラルの必要性と情報を発信するときの注意点について説明できる。	●双方向性のあるコンテンツに関する問題を見いだし、課題を設定できる。 ●使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。	●進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
6	・情報セキュリティと情報モラル ・コンピュータとプログラミング	7	●知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。 ●双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	●製作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。	●自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。
7	・双向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		●安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	●問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	●知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 ●自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
9			●生物の育成には、特性・習性など科学的な原理・法則が関係していることを説明できる。	●生物育成の技術に込められた不空を読み取り、生物育成の技術が最適化された経緯に気付くことができる。	●進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
10	・生活や社会と生物育成の技術 ・さまざまな生物育成の技術 ・生物育成の技術による問題解決 ・これからの中の生物育成の技術	3	●生物の育成環境を調節する方法等の技術の仕組みを説明できる。 ●作物、動物及び水産生物の成長、生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。 ●生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ●育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。 ●これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明できる。	●条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 ●育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況などを比べながら、合理的な解決作業を決定できる。 ●自らの問題解決の工夫を、生物育成の技術の見方・考え方へ照らして整理するとともに、課題の解決結果を記録したデータに基づいて評価する。 ●よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方について説明することができる。	●自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ●自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 ●よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成の技術を進めて工夫し創造しようとしている。
11	・計測・制御のプログラミングによる問題解決 ・これからの中の情報の技術	7	●計測・制御システムの各要素の種類と役割を説明できる。 ●計測・制御システムにより自動的に危機が動くしくみを説明できる。 ●生活や社会に果たす役割に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる	●情報の技術を利用した、問題解決の見通しをもつことができる。 ●解決のためにセンサとアクチュエータをどのように利用するか、入出力されるデータの流れから計測・制御システムを構想し制作工程表等に表現できる。 ●よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来	●課題をふり返り、プログラムをよりよいものに改善しようとしている。 ●よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
12					
1					

			に向けた新たな改良、応用について提言できる。	
2				
3				
主たる評価材料		定期考查・小テスト・授業内での作品・実技テスト	プリント・レポート・活動報告書・定期考查の記述内容・授業内での作品など	レポート・主に作品を中心に作業・授業の取り組み・活動報告書と作品